

## パソコンケースにマザーボードを取り付ける

ケースのカバーをはずします。

このケースは後ろの4本のねじをはずすと側面カバーがはずせます。

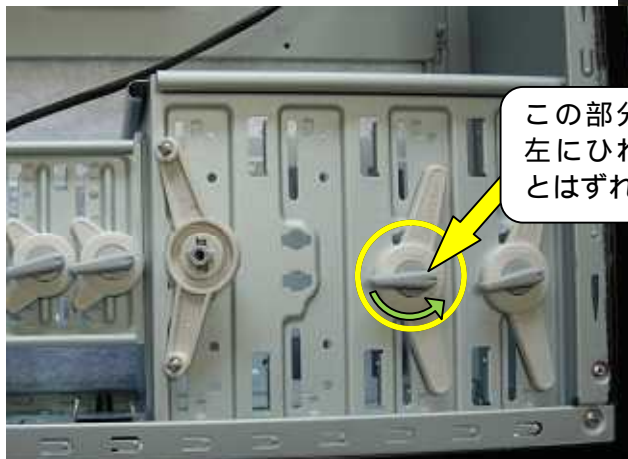
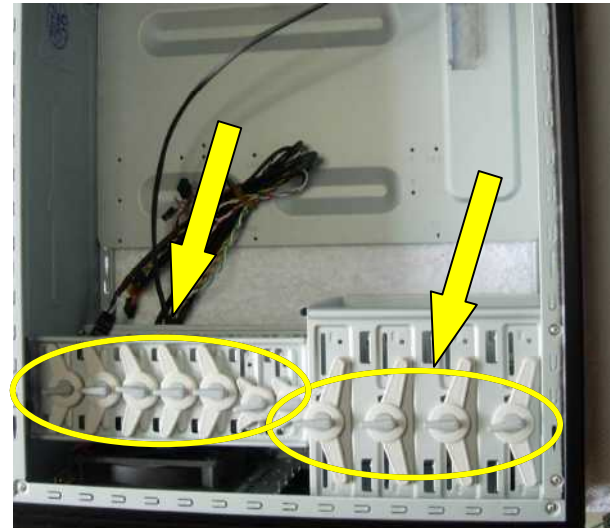
ケース付属のねじ類（ねじ、スペーサー、ケースの脚、スピーカー）の袋が入っているので取り出して確認して下さい。ねじはミリ（ISO）ねじ、インチねじの2種類が入っています。ねじの山の間隔が狭いほうがミリねじ、広いほうはインチねじです。

ケースを横（前面から見て右を下）にします。

このケースのドライブベイには簡易型のドライブ固定具（プラスチック製でねじ不要）が付けられています。（右図参照）

しかし、HDD、CD/DVDドライブ、FDDがしっかりと固定できないのでこれは外してねじで固定するようにしましょう。

右図のプラスチック製ドライブ固定具をすべて取り外します。両側にありますのでケース反対側のカバーも取り外してすべて取り外します。



取り外した簡易型のドライブ固定具



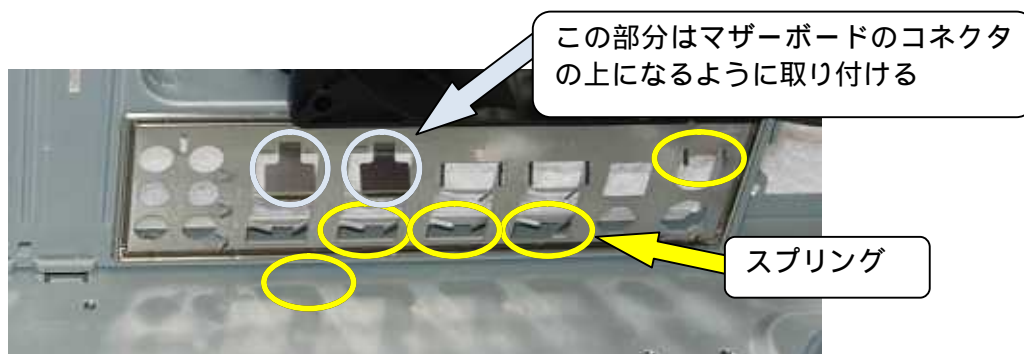
すべての簡易型のドライブ固定具取り外したドライブベイ

このマザーボードは ATX 仕様です。別に MicroATX 仕様や FlexATX 仕様などのマザーボードもありますが、大きさもねじの位置も異なります。通常自作機ではケースはミドルタワー、マザーボードは ATX 仕様を使います。

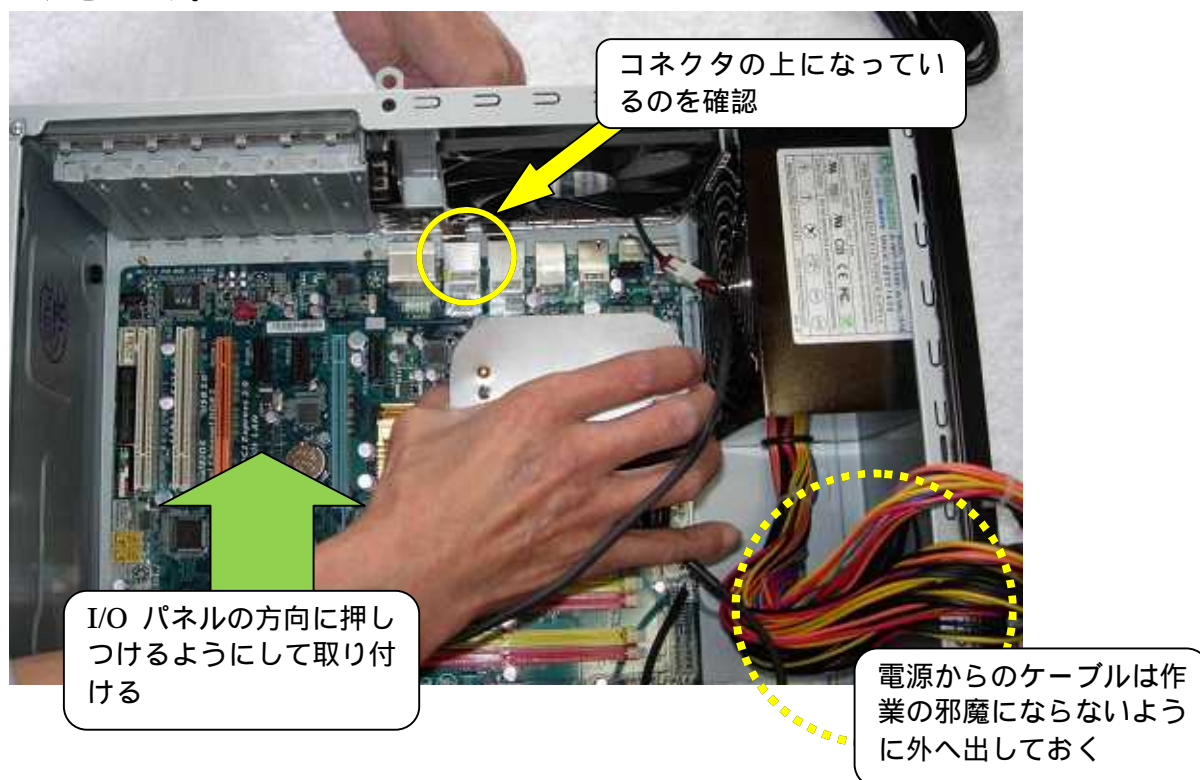
電源ケーブルやケース付属のケーブルはマザーボードの取り付けに邪魔にならないようにケースの外へ出します。通常、ケーブルは電源ユニットからは取り外せません。(最近の電源ユニットには必要なケーブルのみをソケットに差込めるのがあります。)

ケースによっては金属の縁にバリが出ているものがあり、怪我をしないように注意しましょう。このため、静電防止手袋を使うとパーツへの静電対策と怪我予防に役立ちます。

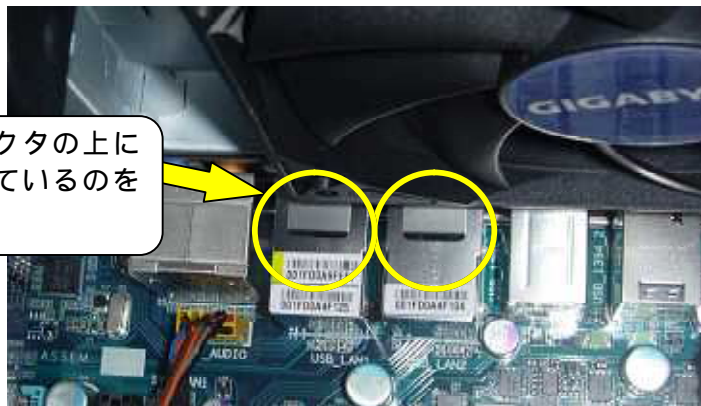
先に取り付けたスペーサーの上にマザーボードを置きます。IO パネルにはマザーボードのコネクタを内側に押すようにスプリングが付いていますので、スペーサーの上にマザーボードを置くと IO パネルに向かって少し押すようにすると、マザーボード取り付けのねじ穴(スペーサー)が見えます。マザーボードの下にケーブルを挟まないように注意します。



マザーボードを取り付けるねじ(ミリねじ)は、手では取り付けられないのでマグネット付きドライバーを使うと良いでしょう。このときねじをマザーボードの配線部分に落して傷を付けないように注意します。



コネクタの上になっ  
ているのを  
確認



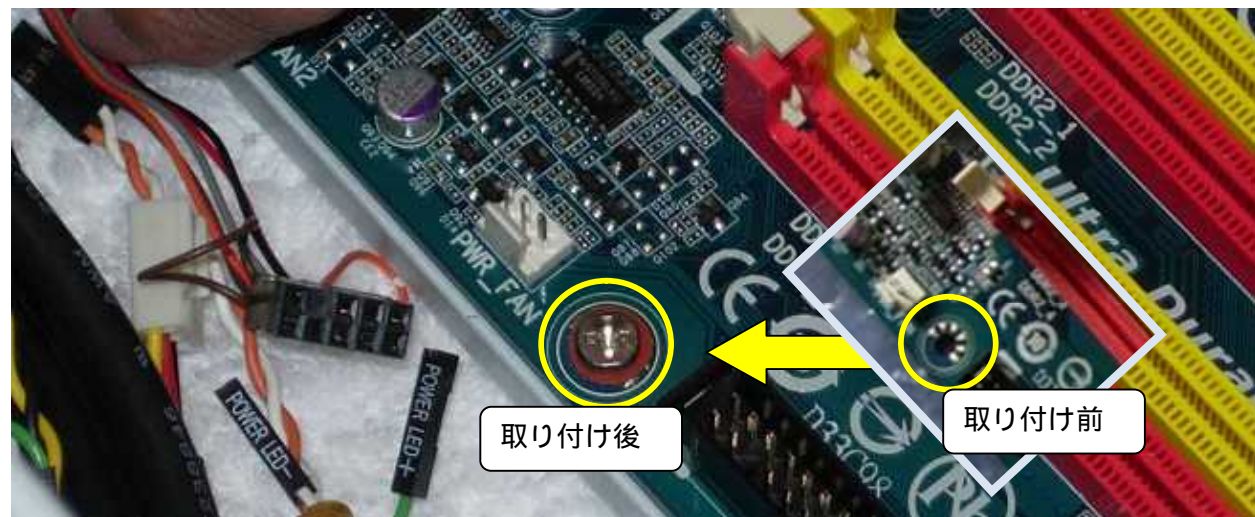
マザーボードを取り付けるねじにはガラスワッシャーをつけてから取り付けます。  
ガラスワッシャーは通常ケースやマザーボードに付属していないので、パーツショップなどで購入し  
ておきます。

9 か所のねじをゆるく取り付けてからねじを対角線の順に締めていきます。このように対角線  
に少しずつ締めていくの手順はPC パーツを固定するときのセオリーです。

ガラスワッシャーをはめてから取り付ける



ガラスワッシャーとねじ





ケース背面の I/O パネルにコネクタが見えているのを確認する



コネクタが I/O パネルにしっかりと密着している